

楽天

千葉と神奈川に物流センター新設

既存拠点の満床見込み、来年中頃稼働

楽天（本社・東京都世田谷区、三木谷浩史会長兼社長）は

1日、同社が運営する総合物流サービス「楽天スーパーロジスティクス」の物流拠点を2カ所で新設すると発表した。野村不動産が開発する「Landport東習志野」（千葉県習志野市）の全フロアと、ダイワコーポレーションが運営する「ニッセイロジスティクスセンター横浜町田」の一部フロアを貸借する契約をそれぞれ締結する予定。両施設は来年中頃から「Rakuten Fulfillment Center Narashino」および「Rakuten Fulfillment Center Chuurinkan」として稼働予定。

千葉県習志野市の新施設は、延床面積約7万4000万㎡、地上5階建て施設6万1000㎡を貸借する。京成本線・八千代台駅から約1・4km、東関東自動車道・千葉北IC約7km、京葉道路・花輪ICから約8kmの場所に位置し、国道16号線、外環道などへのアクセスにも優れる。施設内の共有部と敷地内には、安全性を確保するための監視カメラと防災センターが設置されるほか、2カ所のカ

フェテリアやドライバー休憩室も完備する。

神奈川県大和市の新施設は、延床面積約9万5000㎡、5階建て施設のうち、4万2000㎡に入居。東急田園都市線／小田急江ノ島線・中央林間駅から徒歩13分、東名高速道路・横浜町田ICから約4kmに立地し、広域にアクセスが可能なエリアとなっている。施設には非常用発電機が設備され、テナント用の非常用発電機スペースも確保。建物内のカフェテリアに加え、大規模地震発生時にも備

えた建物安全度判定サポートシステムも導入されており、「従業員の働きやすさや安全性を考慮した設備が充実している」（同社）という。

楽天スーパーロジスティクスは、楽天のECモール「楽天市場」出店店舗の、商品の保管から出荷までを同社が一括で担う総合物流サービス。これまでも千葉県市川市、流山市、兵庫県川西市、尼崎市および大阪府枚方市に物流センターを設けてきた。同社では「既存物流拠点が順調に稼働率を上げ、20年中頃の満床が想定されることから新センターの開設を決め、楽天スーパーロジスティクスのさらなる処理能力向上を図る」としている。



Landport東習志野



ニッセイロジスティクスセンター横浜町田